

KAS

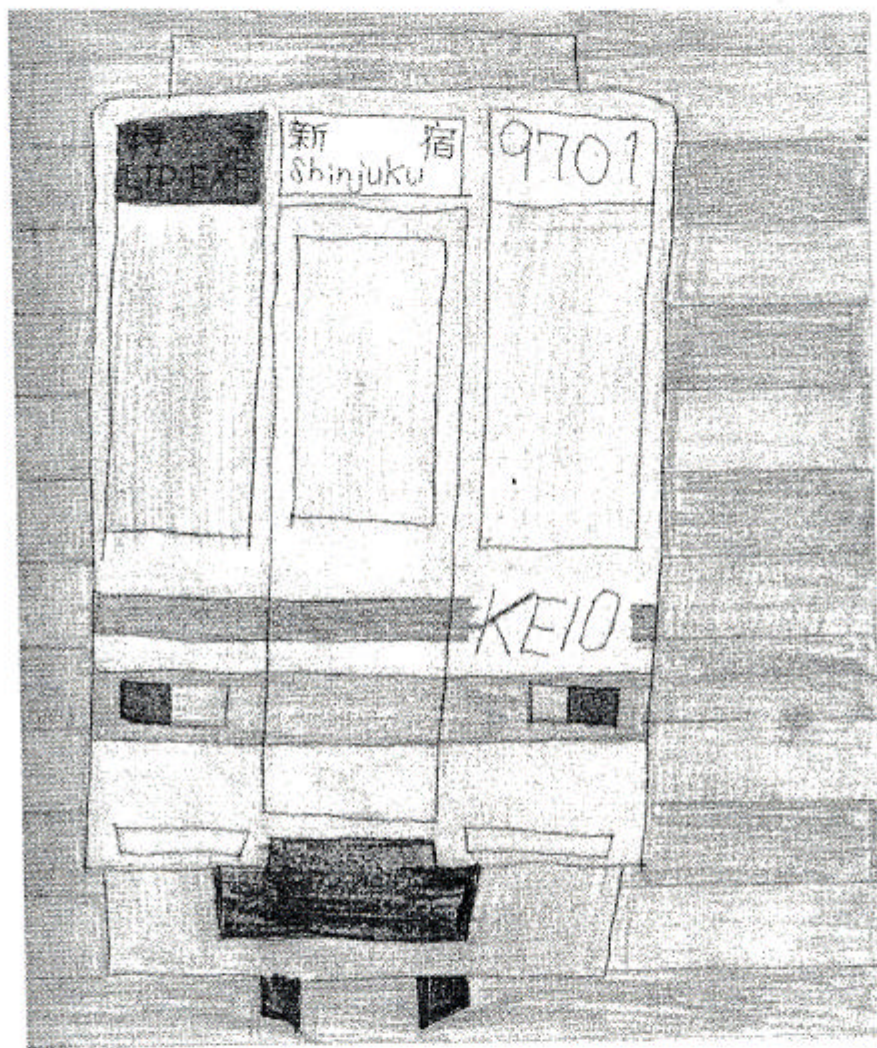
風の谷 びゅう VIEW

社会福祉法人 風の谷

相模原市田名7236-3

発行責任者 政野 光廣

042-760-1033



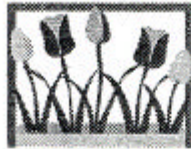
イラスト：堀田 大輔

【2002年 春号】

◇巻頭文	P 2	◇イラスト (やまびこ工房の仲間たち)	P 3
◇ガイドヘルパーについて	P 4・P 5	◇自閉症について	P 6・P 7
◇ボランティア募集	P 7	◇後援会のページ	P 8

発行人 神奈川県自閉症児・者親の会連合会 代表者 佐藤 辰男 厚木市中依知85-1-321

毎月15日発行 購読料1部 50円



ご挨拶



梅もすでにピークを過ぎ桜の開花が待たれるという、まさに春の息吹がそこかしこから感じられる時節となりました。遅ればせながらの新年のご挨拶で恐縮でございますが、皆様方には新たな気持ちでご活躍のこととお慶び申し上げます。

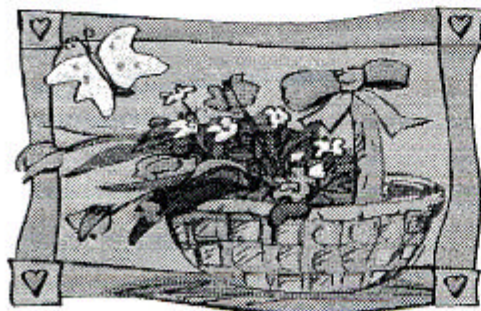
昨年は、皆様のご協力のもとに、かねてより進めておりました、グループホーム『ナウシカ』を開所することができました。この場を借りてご支援頂きました皆様に改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

このグループホームは、自閉症者の地域での生活の場を確保し、より快適な生活の追求と地域での「自立」を指向し、自閉症者グループホームのモデルケースとして法人が運営する形態をとりました。「障害者の地域生活への支援をすすめていく」と云う潮流の中、更なるサポートの質および量の向上、運営形態に関してなど課題はございますが、関係者や近隣の皆様のご支援ご協力により順調に推移しております。ここで積み重ねられた経験、ノウハウが相模原市での自閉症者の地域生活支援に役立つことと思います。

さて、21世紀になりましたが、国の内外を問わず不透明な時代になりつつあります。国内でも、政治改革、構造改革また、企業においても生き残りをかけた、リストラ、ワークシェアリング等と激変する世相となりました。私ども社会福祉法人を取り巻く状況も大変革の中にあるのは周知のとおりです。とりわけ基礎構造改革の中で平成15年度より実施される「支援費制度」への対応が急務であります。この様な激変する制度改革の中、法人の依って立つところは、法人の理念にあります「利用者のために！」を実践し、激変する環境の中にあっても目先の変化にまどわされることなく、長期的な視点で変化の潮流を捉え、サービス提供、人材の育成、法人としての経営バランスなど自らのコアコンピタンスを高めて取り組むことが今何よりも重要であると感じております。

最後になりますが、去る2月23日(土)から25日(月)にかけて、ミウヰ橋本の多目的ホールにて当法人の後援会が主催した『現代国際巨匠絵画展』には延べ1000人を超えるご来場をいただき、成功裡に終えることができましたことをご報告させていただきますとともに、ご支援ご協力をいただきました皆様に心よりお礼申しあげます。

社会福祉法人風の谷
理事長 政野光廣



ゆまびと工房の仲間たち



城⁰²
Feb.

これまでエピソードのコーナーでは、日帰り旅行や外出など利用者の皆さんの余暇活動の様子を紹介してきました。今回は、いよいよ始まったガイドヘルパー制度についての紹介をしたいと思います。

ガイドヘルプサービス

相模原市で2001年4月から新たにガイドヘルプサービスがスタートしました。これまでの身体障害者（全身性・視覚障害）に加え、知的障害者の方もこのサービスを利用出来るようになりました。今回はその、ガイドヘルプサービスについてご紹介します。

「ガイドヘルプサービス」とは、社会生活上で必要な外出、または余暇活動などで社会参加する際に付き添いが必要な場合に、介助等を行うガイドヘルパーを派遣する事を言います。これまでは、18歳以上で社会的理由のある身体障害者の方のみがサービス利用の対象だったのですが、昨年の4月からは知的障害者の方（療育手帳をお持ちの方、もしくは公的機関等の判定によりそれと同等の障害が有ると認められた方）も利用出来るようになりました。サービスの利用内容も従来の「社会的理由」から「余暇活動にかかる外出」にまで広がりました。これにより、やまびこ工房の利用者の方達もこの制度のもと、ガイドヘルプサービスを利用出来るようになりました。（ただし、現在は残念ながら相模原市内在住の方に限られています。）

さて、次は実際に利用する時のお話です。まず始めに、福祉事務所での総合利用登録の申請が必要になります。登録が終わると、いよいよ申し込みになります。申し込みは相模原市社会福祉事業団（松が丘園）にて受け付けています。派遣対象となる外出にはどのようなものがあるかという、大きく分けて2つあります。まずひとつめは、「社会的理由」です。「社会的理由」とは、公的機関や医療機関への受診、冠婚葬祭などでの外出です。これは従来からあったサービス利用内容で、もうひとつが新たに加わったサービスの「余暇活動」です。「余暇活動」とは、その名の通り「買い物や食事」、「遊戯施設」など余暇のための外出で、生活の幅を広げ快適なものにするために直接関係してくるサービスです。1回8時間以内、月に16時間という制限はありますが、ガイドヘルプサービスを利用出来るようになりました。（社会的理由を除いた延べ時間）

【総合利用登録申し込み窓口】

相模原市福祉事務所

（あじさい会館5階）

TEL 042-750-6706

南福祉事務所

（南合同庁舎2階）

TEL 042-749-2141

【ガイドヘルパー派遣申し込み窓口】

相模原市社会福祉事業団

（松が丘園）

TEL 042-758-2121

FAX 042-758-7070



現在、相模原市では100名以上の方がガイドヘルパーに登録しています。すべてのガイドヘルパーは身体・視覚・知的の障害についての研修を受けてから登録され、活動しています。

やまびこ工房では「利用の申し込みをされた方」の「コーディネート」をしています。コーディネートとは当日一緒に行動するガイドヘルパーの方を探したり、活動内容を考えたりすることです。ガイドヘルパーに対して事前情報を伝え、その外出をより良いものにするのも私たちの役割になります。自閉症の方々は、もともとコミュニケーションをとるのが苦手で、個々の特徴を捉えるのが難しいといわれています。そのため、普段の生活を見ている私たち職員がコーディネートをし、利用される方達の一人ひとりの特徴にあわせた計画を立てることで、不安を解消し、楽しむ事が出来る様に努めています。

また、利用者さんによっては初対面の方がとても苦手な方もいます。そこで、やまびこ工房では非常勤職員にガイドヘルパーの登録をしてもらっています。普段から接していて、その方の特徴をよく知っているガイドヘルパーに頼む方が、極度に緊張することもなく、安心して外出することが出来る場合があり、より良い時間を過ごすことになると考えているからです。

やまびこ工房では、休日の外出や施設利用が終わった後の外出など様々な外出をコーディネートしてきました。実際にやまびこ工房でコーディネートした活動をご紹介します。

プールの場合、相模原市には市が運営しているプールがいくつかあります。例えば、滑り台や流れるプールそして障害者専用プール、また、ご自宅から一番近いプール等の中から、一番楽しめそうなプールを1つ選びコーディネートしました。(もちろん、自分の行きたい場所を選べる方には選択してもらっています。)その他にも、電車に乗ってちょっと遠くまで!とか、ハイキングコースの散策、冬のこの時期には「スケート」なんていうのもありました。

どうしても、一人で行かせるのは心配だし、かといって一緒にはなかなか出掛けることが出来ないというご家族にとっては、もってこいの制度だと思います。

ここでガイドヘルパーの声を一つご紹介いたします。

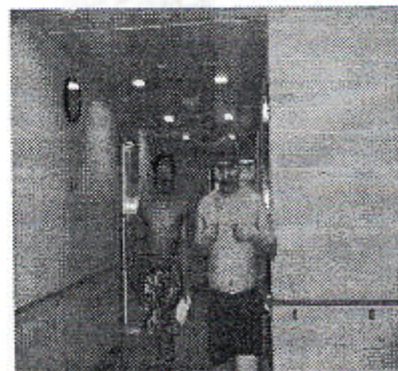
「ガイドヘルパーの醍醐味は何といっても、普段施設で見るとはちょっと違う表情を見られる事です。工房にいる間は仕事が一番の目的になりますが、ガイドヘルパーを利用しての外出は好きな事をするのですから皆リラックスして表情も柔らかくなります。また、「えっ!こんなことも出来るの!」とか「こんなに上手に出来るんだ!」とか驚かされる事もしばしばです。また、ちょっとしたハプニングも密かに私の楽しみです。いつもと違う場所でのいつもと違う皆の姿は私の工房での生活に幅を持たせてくれているのです。」(ガイドヘルパー：鹿野 亮)



この様にガイドヘルパーと協力しながら、これからも、利用者一人ひとりの豊かな社会生活のために、より良いコーディネートができるように心がけていきたいと思ひます。

最後になりましたが、いつも一生懸命なガイドヘルパーの皆さんに感謝いたします。

これからもよろしくお願いいたします。





自閉症について



実践編

このコーナーではこれまで自閉症の人達の特徴や基礎知識に関する事を取り上げてきました。今回はやまびこ工房での取り組みを紹介していきたいと思います。

さて、私たちは一日の流れ「スケジュール」を目安にして生活しています。それは今行うべき事や、次に行う事を整理することで見通しを持てるからです。

自閉症の方は先の見通しがもてない事にとっても不安を感じるといわれています。そのため、私達以上に「スケジュール」が重要になってくるのです。

やまびこ工房の利用者さんも一人ひとりが個別のスケジュールを持っており、見通しをもって生活しています。スケジュールというどうしてもシステム手帳に予定を書き込んで、普段からカバンの中に入れて持ち歩く、というイメージがありますが、やまびこ工房でいう「スケジュール」はちょっと違います。写真1・2のように「時間」と「何をするか？」を書いてあるものや写真3のように絵が書いてあるもの、写真4のような実物を縮小した物まであります。

また、出勤から退勤までの一日の予定がすべて表されているものだけではなく、一度に沢山の予定を伝えるとかえって分からなくなってしまう人には作業や課題の回数のみを表すもの(写真5)、次の活動のみが表されるもの(写真6)などスケジュールの提示の仕方それぞれです。このようにやまびこ工房では一人ひとりに合わせた提示を心がける事で利用者さん自身が自分で行動を管理していく練習をし、自立した生活をめざしています。

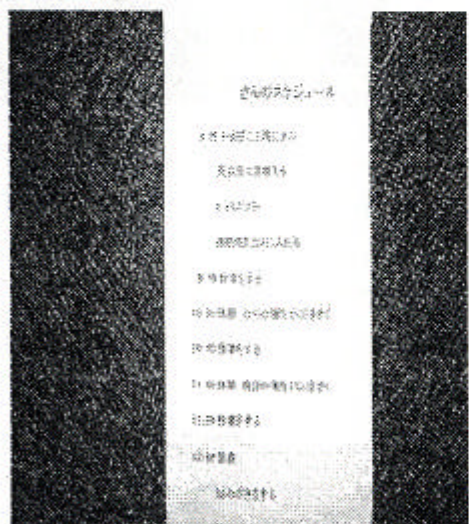


写真2

左側が「午前」、右側が「午後」です。どちらも一番上から順番にカードを取って活動へと向います。活動の場所にはカードを入れるポケットがあり、そこにカードを入れます。終わったら、スケジュールのある場所に戻って次のカードを取って次の活動を行います。こうして、最後まで行くとスケジュールにはカードがなくなります。カードがすべてなくなったら1日が終わりです。



写真1

皆さんも「旅行のしおり」などで目にする形ですね。やまびこ工房では、活動が終わったら、その活動が書いてあるところに、色ペンで線を引いてチェックしていきます。こうする事によって、次の活動が明確になるだけでなく、書かれている予定をちゃんと行ったかというチェックも出来ますね。



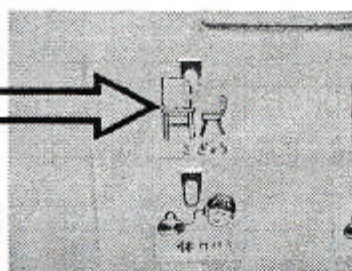
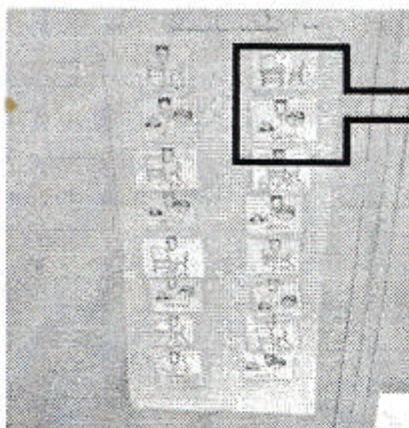


写真3

活動の内容がイラストで表されています。文字が苦手な人でも、絵がある事で、これから何の活動をするか？、どういった活動があるのか？が分かりますね。

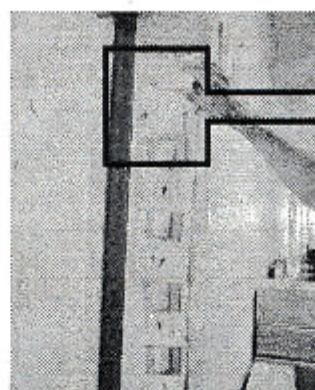


写真4

実物のサイズを縮小しています上の洋服は「着替え」を表しています。着替えの際にこれを更衣室に持って行きます。写真や絵などが分からない人でもこういった形なら何をするのか分かりますね。



写真5

「作業（課題）」が終わると1つシールを貼り、5つの丸に全部シールが貼れたら「昼食」になる事を表しています。この場合、あと4回「作業」をすると「昼食」ですね。時計が読めない人でも、このような形であれば、先の見通しが持てるようになります。

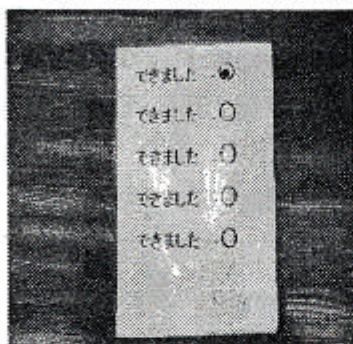


写真6

活動を始める時に一番上のカードを一枚めくり、活動の場所まで持って行きます。この場合、「作業」が終わったので、めくって「お茶」を取りました。「お茶」の後は「パズル」をやる予定になっていますね。最終的にはカードが全てなくなり、予定終了です。



ボランティア募集！

やまびこ工房ではボランティアの方を募集しています！！

私たちは、たくさんの人との交流の中で、自閉症理解の輪を広げていくと共に、友人、仲間といった、人と人とのネットワークを広げていきたいと考えています。自閉症ってなんだろう？何かやってみたいetc なんでも構いません。

思い立ったが吉日！興味をもった方はまず、お電話を！！

活動内容：散歩やプールなどの外出の付き添い、

作業準備・補助（紙すき、空き缶つぶしetc.）

畑や植栽の手入れ、施設の環境整備（窓拭きetc.）などです。

活動時間：月曜～金曜の9：00～16：00 1日でも1時間でも大歓迎です。

お問合せ先：042-760-1033 やまびこ工房 担当：野田・佐藤

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆風の谷後援会だより◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

平素から皆様より御協力、御支援を受け賜りましてありがとうございますこと、心より厚くお礼申し上げます。

先日の、『現代国際巨匠絵画展』におかれましてはご多忙の折、大勢の方々に御来場戴きまして心から感謝致しております。開催中には不安いっぱいでありましたが、元気の出るあたたかい励ましを戴きました。そして何よりもありがたかったのは暖かく胸がいっぱいになる程の愛を大勢の方々から戴きました。

人との関わり合いにて、絵を通じてこんなに素直に感激（感動）した体験は忘れかけておりましたが、三日間心地よい気分になれましたのも確かであります。

これを機に、今後障害を抱える人達に対して私達は出来る限り、具体的に正しく対応出来るように勉強しつつサポート活動することが、今回、皆様から得ました優しさの恩返しと考えております。つきましては私共の今後の活動を観て戴きまして、更に御指導（御指摘）して頂きたいお願い申し上げます。

今回の絵画展開催に当たりまして(株)アートフォレスト様には、絵画展の前準備から開催中、後までのイロハを御指導して戴きまして、何とか実行委員一人一人の志気が高まり、さらには絆も深まり無事終えましたこと心からお礼申し上げます。

そして、イベント開催毎、御理解と御協力を戴いております相模原市保健福祉部障害福祉課様、相模原市社会福祉協議会様、相模原ボランティア協会様、読売新聞横浜支局様、神奈川新聞社様、神奈川県自閉症児・者親の会連合会様 その他の団体様より広くPRして頂きました。加えて自主的に実行委員に参画して頂きました大勢の方々、深く伏せてお礼申し上げます。ありがとうございました。

風の谷後援会 会長 但野利行

3日間の御来場総人数 約1000名様でありました。ありがとうございました。

平成13年度風の谷後援会 新規・更新者紹介 (H13.10.15~H14.2.25 敬称略)

<団体> 伸和トラスト、相模原やまびこ会、スイムスイミングの会、

<個人>

(相模原市内)

山根純子、萩原シメ、上城洋一、野崎 清、百田紀久男、政野光廣、西田末男、三田二三男、萩原常寿、萩原元紀、成沢隆継、清水紳一郎、高橋昭雄、萩原春夫、赤間 晋、内田まゆみ、堀田脩司、斉藤真澄、篠崎繁雄、安部はつ子、大崎裕子、梅田英子、立花春行、西村良子

(その他の地域)

柳井昌子、久島範子 (津久井町)、佐藤辰男、松本嶺生、藤野孝夫、内田照雄、藤野喜友 (厚木市)
竹花三枝、樋口昭雄、田辺綾子、倉持妙子、小山かおり、山本昭子 (町田市)、林玲子 (愛川町)
清水洋子、石渡和実、内藤美也子 (横浜市)、村上信治、日浦隆、成瀬富子 (平塚市)、森才栄子 (大和市)
田中ヒロ子 (海老名市)、永井泰義、永井勝也、上城功 (八王子市)、阿部大輔 (所沢市)、上野悟 (川崎市)
大久保秀俊 (秦野市)、佐々木継生、上城和子 (北九州市)、浅山泰子 (須坂市)、浅羽昭子 (横須賀市)
村井伸芽 (吹田市)、塚本寿子 (福井県)、高島潤一 (船橋市)、田中正子 (小郡市)、上平善敏 (大阪府)
福沢はつ子 (西区)、吉田史郎 (港区)、中島良栄、中島悦男 (北海道)、日野資純、日野朝子 (静岡市)

以上の方々に御入会頂きました。御支援ありがとうございました。